

kei の 「月収 100 万円レポート」

こんにちはー、kei です。

今回のレポートでは、

僕が月収 100 万円になったこと。

僕はどういうたぐいの人間で、どう考え、どう行動して、

月収 100 万円なんてものを稼ぐことができたのか。

なぜ、インターネットビジネスなんていうものをはじめたのか？

これからお話しする、僕の物語では、

そんなことについて語っていきます。

ぜひ最後までご覧いただき、
僕の話をお役に立てていただければと、
思います。

では、僕の物語の
～はじまりはじまり～

~~~~~

こんにちはー、けいです。

現在、21歳の大学4年生です。

大学4年生と言ったら、  
就活がなんたらみたいな話をよく聞かされるんですが、  
僕は就職活動をやってません。

というか、やる必要がないです。

なぜなら、

僕は大学4年生の現在で、

だいたい月収100万円くらいを稼いでいます。

お金も、時間的な自由も、

この歳にしてある程度までは、

手に入れちゃいました。

ただですねー、ここに来るまで、

割りと短期間だったとはいえど、相当な覚悟をもって

やってきました。

僕はビジネスを本格的にはじめてからは、

まだ半年しか経っていないのですが、

正直この半年間は計り知れないほど濃かったです。

いろんな葛藤や、迷いを、

おそらく、普通の人々の10年分くらい経験してきました。

僕の濃い数か月間の人生の葛藤を意識して

読み進めていただければと思います。

当時の僕は大学3年生だった。

大学では、バンドサークルでベースを弾いていたり、

家に引きこもってオンラインゲームに熱中していたり、

とにかく遊びまくりだった。

さらに、某アイスクリームチェーン店での

アルバイトもやっていた。

当時の月収は奨学金をのぞけば、  
月収5万とかで生活していた。

もちろん、そんだけいろいろやっていると、  
全然勉強する時間なんてとれず、  
大学の単位もボロボロだった。

そんな中で、時は残酷に過ぎていく…。

だんだん就職活動の時期が近づいてくるのに応じて、  
自分で生きていく。  
ということに対する現実味、  
危機感、緊迫感みたいなものがどんどん近づいてきていた。

「奨学金生活、もうちょっとで終わるんだ。。。」

「やべー、なんとかしなきゃ、」

そんなことを思いつつも、  
バンド、ゲーム、バイト、で  
過ごしまくっていた。

で、  
大学3回生の11月、  
バンドサークルが引退の時期となり、  
僕はバンドサークルを引退することとなった。

そのとき、一時的にバンドから離れることになり、

将来のことについて考える時期が到来した。

「将来どうするかな…。」

「バンド一本で頑張って、売れて、メジャーデビュー？

でも、それだと売れなかった時のリスクヤバいな…。」

「それとも、とりあえず就職して、空いた時間で趣味でバンド？

うーん、それじゃあどっちも中途半端過ぎておもしろくない…。」

僕の理想としては、バンド一本でやっていきたいけど、

フリーターは嫌。

そんなわがままだった。

バンドやって売れなかった時は、  
就職しなかったことを絶対後悔するし、

逆に就職して中途半端にバンドやってたら、  
バンドに人生かけて挑戦しなかったことに後悔するだろう。

そんな感じだった。

マジでどうしよう…。

当時の僕は、  
食事ものどが通らないほど焦り、



本気で悩み苦しんでいた。

そんなある日、

Twitter を眺めていたら、

こんな文章が流れてきたのだ。

「2時間で8万円稼がせてあげれた。」

「副業で月5万円くらいお小遣い欲しい人いたら、メッセージください。」

そんな感じの内容だった。

「超うさんくせー。こーいうやつね。」

「でも、これが本当だったら、やばくね??」

疑いまくっているけど、内心では期待しまくっていた。

半信半疑って言葉そのものだった。

「まあ、メッセージ送ったり話聴くだけだったらタダだし、

いっちょ聞いてみるか～～。」

そんな感じで話だけでも聞いてみることにした。

その相手はなんと、

自分と全くおんなじ年齢の人で、21歳の人だった。

その人は以前まで会社員をしていて、  
起業するために東北から東京まで来て、  
ガッツリビジネスで稼いでいるとのことだった。

月収は 200 万くらいあるらしく、  
六本木ヒルズに住んでいるらしい。

大学生の僕には六本木ヒルズと聞いてもピンと来なかったが、  
六本木の超高額な家賃を聞かせてもらって、  
とにかくすげーってことだけはわかった。

今まで触れたことのない世界の人間との会話に  
興味津々だった僕は、

「どうやったら月収 200 万円になれますか??」

単刀直入に質問してみた。

そしたら、

「僕が教えてもらっているビジネスの師匠から  
コンサル受ければいいですよ。」

と言われた。

とりあえず、そのまま話の流れで、

その方の師匠の S さんと話すことに…。

なんと、S さんも同い年らしい。

自分と同い年で何百万も稼いでいる人がいるなんて  
驚愕の世界だった。

で、いろいろ話をきいていくと、

コンサルティングを受けるのには 50 万かかるらしい。

僕には到底払えない金額だった。

「学生ローンで借りればなんとかなるよ。」

と言われたが、

借金とかしたことない僕からしたらハードル高すぎて、

ありえない世界だった。

(でも、これって本気で人生変える運命の出会いかもしれない……。)

って思って、一応、

言われるがまま、学生ローンに申請してみた。

だが、結果的に、

理由は忘れたけど、学生ローンは審査が通らなかった。

なんか心がホッとしたような気がした。

でも、それは錯覚だとすぐに気づいた。

なぜなら、

僕が求めていたのはお金を払わない安心ではない。

ただお金を払わなかったことに安心しただけで、

僕はなにも解決することができていなかったのだ。

それに気づいた瞬間、

スイッチが入った。

俺は絶対稼いでやる。

稼いで、稼いで月収 200 万、

自分もなってやる。

そして、お金と時間の自由を手に入れて、

大好きなバンドを思う存分やりまくるんだ。

全身の血が煮えたぎるような感覚。

そんな気持ちでいっぱいだった。

これが僕が 21 歳の時に初めて生まれた、

「夢」だった。



「とにかく、なんとしてでも人生変えてやる。」

そんな気持ちで全神経を研ぎ澄ました。

Sさんのコンサルティングはあきらめたものの、  
それから、いろいろネットで調べてみることにした。

「ネット お金の稼ぎ方」 検索

そんな感じで調べまくった。

瞼が勝手におちてくるくらいになるまで  
毎日、毎日、朝から晩まで調べまくった。

そしたら、なにやら

大阪にもビジネスコミュニティみたいなものがあるらしいとわかった。

とりあえず行動しなきゃ！と

そこに連絡を取って、実際に会いに行った。

大阪の梅田のサンマルクカフェで

話を聞かせてもらうことになった。

話を聞いてみると、

なにやら、

ブログを書いてお金を稼ごらしい。。。

セミナーにも誘われ、それも参加した。

そこには同じ大学生くらいの見習いネット起業家みたいな人たちがたくさんいたのだ。

自分と同じような境遇の人って、

世の中にたくさんいるんだ…。

こんな大阪の身近にこんな非常識な世界があるんだな…。

僕の中の常識的な物が打ち破られた瞬間だった。

で、いろいろ話を聞かせてもらって、

自分もやりたい！！ってなったところ、  
そのコミュニティに参加するのは 32 万円。

そちらもまあまあ高かった。

でも、僕はもうやる気満々すぎた。  
とにかく、早く始めたくて全身がうずうずしていたのである。

そこで上手く行って、  
月収 400 万くらい稼いでいる実業家の方ともお話した。

面と向かって月収 400 万の経営者と話すのなんて  
初めての経験だった。

いろいろお話をされたが、  
内容が別次元過ぎて意味が分からなかった。笑

でも、なんかよくわからないけど、  
それで僕は感化され、

そんなにお金を稼げるのなら、  
自分も一回チャレンジしてみよう！！って思った。

32万円なんて用意できないので、  
アコムに行くことになった。

心臓が鼓動をバクバク響かせながら

アコムで 20 万円ほど借金をした。

そして、

32 万 4000 円払ってそのコミュニティに入った。

そこには、

たくさんのビジネス仲間がいた。

クラブ会場みたいな場所での懇親会もあった。

僕はそこで

1 か月間、ブログ記事を書きまくったり、

Twitter を使ってブログを宣伝しまくった。

だが、

僕の果敢ない考えは甘かった。

1か月後、

僕は気づいてしまった。

今のままビジネスをやっても、

絶対就職活動までに間に合わないのだ。

1か月やって稼げた金額は

まだ0円だ。

おそらく、そのままのペースで続けていても、

最初の数万円の収益が出るまでにあと1か月かかる。

しかも、そこからもっと伸ばしていくためには、  
もっともっと時間が必要なのだ。

僕は早く就職するまでに大きくお金を稼いで、  
就活しなくていい状態にまでもっていきたかったのだ。

このままじゃあかん。。。

そう思った僕は、  
違うお金の稼ぎ方をとにかく模索、探しまくった。



それで、

YouTube とかブログを

とにかく漁りまくっていたときに見つけたのが、

転売っていうビジネスだった。

当時僕がやってたのは、

メルカリというフリマアプリを使った転売だ。

今ではほとんどできないのだが、

当時はそれだけでもなんと月収 30 万とか達成している人たちが

ごろごろ存在していた。

「これだ！！」

って思った僕は、

動画を見て、見よう見まねでやってみた。

～2 時間後～

「売れたああああああああああああああああああああ」

ビジネスで初めて収益が上がったのである。

たった 800 円だった。

だが、それがうれしい。

嬉しすぎるのだ。

自分の手で、会社からもらうのではなく

自分で稼いだお金。

これで自分はビジネスマンとしての

第一歩を踏み出したかと思うと、

嬉しすぎてパソコンの前でガッツポーズしまくって

飛び跳ねまくった。

超少額ではあるが、

自分の力で初めて稼いだお金には破壊力があった！！

それから、僕は転売を1週間くらい続けたら、  
なんと、合計3万5000円くらい稼ぐことができた。

ただ、そこで問題が起こったのだ。

クレジットカード枠が足りなかった。

通常、転売でお金を稼ぐためには  
クレジットカード枠というのが必須なのだ。

転売というのは、  
仕入れるのにクレジットカードか資金が必要なので、  
資金もクレジットカード枠も少ない僕にとっては  
めちゃくちゃ不向きなビジネスだった。

学生の僕は、クレジットカードの枠が10万円しかなかったせいで、稼げる金額は3万5000円が限度だったのだ。

それじゃ就職しないなんて無理だ…。

あくまで僕の理想は、  
ビジネスで就職しなくてよくなるくらいまでは稼ぐ。

欲を言えば、月収100万円以上を稼ぐことだった。

そのまま転売を続けていたところで、  
稼げたとしても10万円前後だ。。

「10万円稼いでるから余裕だし、就職しない」

なんてそんなアホ過ぎる理由で就活しないなんてことは

僕は納得できなかった。

僕はそれから、

あるビジネススクールに入ることにした、

そこでは

転売と、情報発信というビジネスを教えてもらえるところだった。

35万円した。

もちろん、そんなお金、僕にはなかった。

だが、どうしても人生を変えたくて、  
諦められなかった。

だから、ダメ元でもいいから、親を頼ってみた。

親に 35 万円を貸してほしいと懇願したのだ。

これにはめっちゃくちゃな葛藤が起こりまくった。

「うちの息子は変なビジネスに勧誘されて洗脳されてるんじゃないの…。」

とか、お母さんを心配させてしまうと思ったからだ。

絶対こんな大金を貸してほしいなんて頼んだら  
100%反対されるだろうなんて、

わかりきっていた。

でも、僕はダメもとでもいいから、  
やってみたのだ。

「お母さん、真剣な話があるんやけど…」

そんな感じで切り出して、  
今までの経緯とか、いろいろ話していった。

だが、  
もちろん反対された。



「何あんた馬鹿なこと言うてんの」

わかりきっていた答えだったが、

就活までにもっとお金を稼ぐためには、

ここで借りてスクールで学ぶしか他に手段がなかったのだ。

頼んだ、頼みまくった。

反対されても何度罵られても、

頭を下げまくった。

でも、ダメだった。

どうしても無理そうだったので、  
最後の最後の手段として、  
親父にも頼みに行った。

僕の親父はかなり怒りっぽいし、お金にはうるさいので、  
どうせ反対されるだろう。

ダメ元だった。

「真剣なお願いがあるんやけど…。」

超申し訳なさそうにすべてを話した。

そしたら、

「いくらいるんよ？」

つとまさか過ぎる希望の返答が返ってきた！！

見た目はおっさんだけど、

僕にとっては天使そのものだったのだ。

そうやっていつも怒りっぽい親父が

優しく僕に 35 万円を貸してくれた。

最強だった。マジで親孝行しようと思った。マジで。

天使親父から 35 万円を受け取り、  
新たなビジネススクールに入った。

そこで僕は、ある講師の M 氏と出会った。

なんと M 氏は脱サラをしてビジネス開始して  
1 か月ちょっとで 114 万を稼いでいるらしい。

僕にとっては異次元過ぎるスピードだったが、  
就活解禁の 3 月まであと 1 カ月しかない僕にとっては、  
1 か月で 114 万稼ぐ彼の実績は  
まさに僕の理想としていたものだった。

理想の先生だったのだ。

そのときから、もうひたすら M 氏に  
とにかく質問、質問、  
本気で聞きに行った。信じて進んだ。

もう僕の頼りは M 氏しかなかったのだ。

不安なんて言ってもらえなかった。

もうひたすらがむしゃらに  
指摘されたところ、言われたことは全てこなし、  
ほぼ初めての YouTube を撮りまくったり、  
ひたすら動画を何十時間も見まくったりした。

もう、人生で一番頑張ったんじゃないかってくらい頑張った。

それでも、最初の3週間は

全く結果が出なかった。

3週間の時点で、

いまだに1円も稼げていない状態だったのだ。

それでも、信じた。

絶対に100万、3月までに稼いでやる。

たとえ稼げなかったとしても、全力を出し尽くしてやる。

そんな思いでがんばった。

3月に入って、3日目くらいのことだった。

売れた。

超高単価、1個売れたら13万くらい入ってくる商品が、  
YouTube や LINE を通じて、1つ売れたのである。

このときは最強に喜んだ。

でも、それでも僕の目標はあくまで100万円だった。

1個売れても気を抜かずにひたすらがんばった、

そうすると、なんと次の日にももう1つ売れたのである。

そして、その1週間だけでなんと60万円も稼げてしまった。

それから、時は3月20日

僕は3月の月収100万円を超えた。

それは、僕がそのスクールで学んでから

40日目(正確には39日)のことだった。

もう、夢にも待った瞬間だった。



達成したときのなんともいえない現実じゃない感はヤバかった。

1~2か月前まで、バイトでの月収5万円だった僕が、  
たった40日で、  
月収100万円まで生まれ変わることができたのだ。

これは以前の僕の常識ではありえないことだった。

40日で。こんなに人生が変わるものなのか。

ヤバすぎた。

何回も頬っぺたをつねって夢じゃないことを確認した。

それから僕は、月収100万円前後を稼ぎ続け、  
人生レベルで大事な物をたくさん手に入れたのだ。

最後に、  
それを紹介しよう。

僕が0から月収100万円を稼いだことで、  
手に入れることができたものは3つある。

1つは、お金だ。 金銭的自由だ。

毎月100万円前後、  
ばらつきはあるが銀行口座に振り込まれてくる。

まだまだ、成長過程なので、  
もっと収入を伸ばしていきたいが、  
それでも大学生の僕にとっては十分すぎる量のお金である。

生活にも買い物にも、基本困ることはない。

そして、2つ目は、  
時間だ。

僕は YouTube で動画投稿とメルマガを書くくらいしか  
ほとんど仕事をしていない。

1日30分～1時間くらい動画を撮って、  
メルマガをちよろっと何通か書く。

完璧な自由とまではいかないが、  
これくらいならほぼ自由の仲間入りだ。 と僕は思う。

そして最後、3つ目は  
自信である。

月収100万円って言うのは  
普通の人を考えれば、普通の間人間が達成できることじゃない。

そう思うだろう。

でも、僕は自分で達成したからこそ言える。

100万円なんて誰でも稼ぐことができるのだ。

なぜ、そんなことがいえるかというと、  
それほどもがき苦しみ、本気で努力したからだ。

本当に本気で努力すれば、  
世の中でかなわないと思われていることだって、  
なんでもかなうんだ。

そういう気持ちになれたのだ。

楽器の演奏でも、スポーツでも、仕事でも、  
ビジネスでも、恋愛でも、  
なんでも、本気で努力すれば夢はかなうんだ。

そう思える自信を身に着けることができた。

僕はもうこれから、

「自分なんて…。」

とかいう卑屈なことは絶対言わない。

自分ならなんでもできる。

自分にできないことなんてない。

そういった真の意味での

精神的な自由を手に入れることができたのだ。

僕は月収100万円を達成したことで

この3つを得ることができた。

これは僕だけじゃなく、

こんな文章をここまで読んでくれている、

モノ好きで暇人のそこのあなたに伝えたいことだ。

ビジネスで100万円を稼ぐことで、

人生を変えることができる。

金銭的自由、

時間的自由、

そして自信、つまり精神的自由だ。

この3つをあなたにも手に入れてほしいと思う。

僕は、メルマガで自分の体験談や、  
思ったこと、ビジネスで役に立ちそうなことを  
全力であなたに提供していこうと思う。

それが、あなたの理想としている情報じゃなくとも、  
ビジネスをやっていく上では  
あなたにとって間違いなく重要な情報であることを約束しよう。

その代わりに、僕とも約束してほしい。

絶対にあきらめないことだ。



それだけを胸に秘めてほしい。

インターネットビジネスは詐欺だ、嘘だ、稼げない。

いろんな批判だったり意見だったり、体験談があるかもしれない。

でも、そんな中でも僕は、  
諦めずに人生をかけて勝負をした。

もちろん、生ぬるい道ではない。

大金も支払ったし、  
毎日毎日ずっとビジネスのことを考えている日々だった。

ビジネスなんて初めてのことであったし、  
いろんな困難や、不安もたくさんあった。

でも、正しい方向で努力さえすれば、  
夢は叶う。現実になるんだ。

それを信じ続けて努力してきた。

そして僕は、小さな夢を1つかなえることができた。

だから、あなたにも、  
絶対にあきらめないで取り組んでほしい。

僕のこれまでの葛藤、闘い、苦悩をお話して、  
これからの夢と希望をあなたに託した。

これから新たに夢と希望をもって、  
ビジネスに取り組んでいき、

将来的には、  
僕と対等な関係でビジネスをやっていけるような人が  
現れることを願っている。

そんなところで、  
このレポートを終えようと思う。

ここまで長いレポートを

最後までお読みいただき本当にありがとうございました。

感想はいつでもお待ちしております。

立花 京

追伸：

僕が自信がなさ過ぎて何をやってもダメだった時代のことを

振り返って、今までの人生のクソ過ぎた、嫌な部分を

レポートに書きなぐりました。

その当時を語ったレポートはこちら。

## [「自信なさ過ぎたレポート」](#)

ただただ自虐ネタしか言ってませんが、  
意外と評判いいみたいです。

あとメルマガもやってます。

月収100万円稼ぐメールマガジンはこちら

## [メルマガ登録](#)